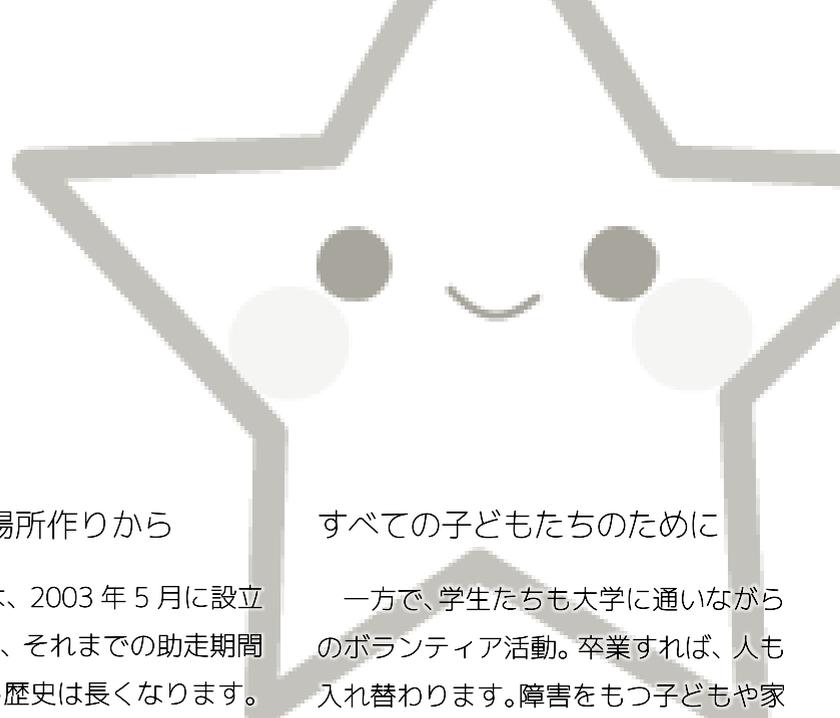




ま
ら

「すべての子どもたちが輝けるまち・精華町」をめざして

Since 2003



なり たち

長期休暇の居場所作りから

NPO 法人そらは、2003年5月に設立されました。でも、それまでの助走期間を含めれば、少し歴史は長くなります。

きっかけは1995年、精華町に暮らす障害をもつ子どもの母親たちがはじめた活動です。それは障害をもつ子どもたちのために、長期休暇中の活動場所を作ろうとする取り組みでした。

「居場所を作りたい」「夏休みも生活のリズムを大切にしたい」「親以外の人と関わらせたい」…。母親たちはさまざまな思いを持っていました。そして、支援者として学生ボランティアを募集しました。

少しずつボランティアは集まり、活動内容も充実してきました。ところが、規模が大きくなるにつれ、企画運営にかかる親たちの肉体的・精神的・経済的な負担も大きくなっていきます。

すべての子どもたちのために

一方で、学生たちも大学に通いながらのボランティア活動。卒業すれば、人も入れ替わります。障害をもつ子どもや家族の生活を継続的に幅広く支えていくには、自ずと限界がありました。

そこで、学生ボランティアグループは自立して、更なる発展を目指すことに決めました。NPO 法人化して、職員を雇い、継続的で安定した支援を行っていくことにしたのです。それから現在まで、「そら」の支援は、少しずつ幅を広げつつあります。

すべての子どもたちが大切にされる社会を作っこそ、障害をもつ子どもが自然に地域の中に溶け込んでいくことができます。そんな精華町を作るために、「そら」には、まだまだやらなければいけないことがたくさんあります。どうぞ皆さんの力をお貸しください。

私たちは、次のような理念に基づいて、法人を運営します。

1 「たったひとつの人生」を支えるように支える。

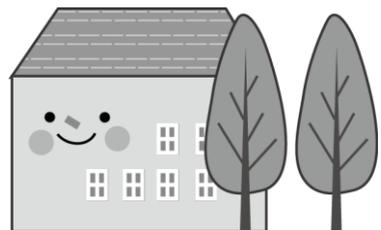
私たちは、人間ひとりひとりの個性と生活の違いを大切にして、人々がかけがえのない「たったひとつの人生」を選び取るための社会資源となります。

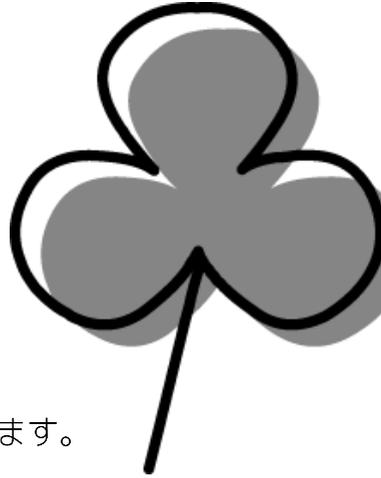
2 誰もがともに生きることのできる社会をつくる。

私たちは、個人の生活が社会や他者との関わりの中で豊かなものになると信じ、誰ひとりとして排除されることなく、ともに生きることのできる社会を目指します。

3 支援者が育つ環境をつくる。

上記の理念を実現するための前提として最も重要なのは、支援者を育てることであると信じ、よりよい支援や社会のあり方について人々が考えを深められる環境をつくります。





子どもたちのために、こんな活動をしています。



私たちの
とりくみ



子育て ひろば

つどいの広場 さんりんしゃ

開所：火～金曜 10時～15時半（祝日・年末年始休除く）

場所：地域福祉センターかしのき苑内

対象：精華町在住で主に3歳以下の乳幼児をもつ親と子

専門相談：助産士…第3木曜日 13:00～15:30

栄養士…第4水曜日 13:30～15:30

近くに頼れる人がいる子育て

核家族化が進み、子育ては孤立したものにになりがちです。

「つどいの広場 さんりんしゃ」では、おもちゃがたくさんある可愛いお部屋の中で、子どもを遊ばせながら、ほっと一息つくことができます。

子育て中のママどうしでおしゃべりしたり、常駐している保育士に子育てについて相談したりすることもできます。栄養士さんや助産師さんが専門的な相談に乗ってくれる日もあります。

予約などは全く必要ありません。利用料もかかりません。来たいときに来て、帰りたいときに帰れる。そんな場所です。



発達支援

発達支援ルーム こねっく

開所：月～金曜（祝日・年末年始休除く）

場所：精華町祝園出森 3-4（旧・ほうその第2保育所）

対象：精華町在住でこねっくのプログラムが発達にとって効果的と思われる幼児

自分を好きになれる療育

どんな子どもでも、まわりの大人からたくさんのサポートや配慮を受けながら成長していきます。

しかし、子どもの発達はさまざまです。その子の発達に応じたサポートや配慮をしていくのは、大人であっても難しいものです。

発達支援ルームこねっくでは、子どもたちへの療育プログラムとその保護者への助言・相談支援を行っています。

療育プログラムでは、子どもたちが「自分のからだを知る」「他人への安心感をもつ」「自分をとりまく環境がわかる」経験を通じて、発達の土台となる「自分が好き」という気持ちを育みます。



わかる・伝わる・安らげる場

一般に、子どもたちの放課後はさまざまです。学童保育所や近所で友だちと遊んだり、クラブ活動に取り組んだり、塾や習い事に通ったりしています。

障害をもつ子どもたちも、身近なところで、それぞれに合った過ごし方ができる場所が必要です。「Libra-りぶら-」では、様々な発達の特性をもつ子どもたちと保護者の発達上・生活上の「願い」を実現するために、放課後の活動の場を提供しています。

「自分でわかって、動ける」「自分の気持ちを相手に伝えられる」「不安なく心地よく過ごせる」ための環境を整え、子どもひとりひとりの発達と生活に合った放課後を過ごします。



Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

開設には、日本財団からの助成を受けました。

放課後
支援

Libra-りぶら-

開所：月～土曜（祝日・年末年始を除く）

場所：精華町祝園西 1-8-1 ほうその共生ビル 2 階

対象：精華町在住で「放課後等デイサービス」「日中一時支援事業」などの利用対象となる子ども

サマースクール・レクリエーションなど

実施： 長期休暇（春・夏・冬）、土・日曜日など

場所： かのき苑、むくのきセンター、支援学校など

対象： 精華町在住の障害をもつ子どもときょうだい
（活動によって、特別支援学校生、特別支援学級生、
幼児、きょうだいなど参加対象が変わります）。

長期休暇
など

未来を担う学生たちと

私たち「そら」の活動の原点は「精華町サマースクール」。行き場のない子どもたちが長期休暇を乗り越えられるようにと、最初は親たちがはじめたプログラムです。

この活動は今も大人気で、夏休み以外にも、冬休みや春休み、週末など年間を通じて活動があります。「工作」「調理」「音楽」「外出」「ゲーム」などの多彩なプログラムに、多くの子どもたちが参加しています。

企画運営は学生スタッフが中心で、子どもたちが楽しめるのはもちろん、これからの社会を担っていく世代が、障害をもつ子どもたちと出会い、考え、学ぶためのチャンスになっています。



「よのなか」とつながる



「出かける」ことは私たちが当たり前
に「世の中」とつながっていくために
不可欠です。自分の力だけで出かける
のが難しい人たちにとって外出支援は
社会との架け橋になります。

どこに、誰と出かけて、何をするか。
外出を通じて、楽しめるものをどんど
ん増やしていくこともできるし、世の
中の仕組みを学ぶこともできます。自
分のお気に入りの場所の楽しみ方をど
んどん深めていくのもよいです。

「そら」のヘルパーは学生が多いため、
思いっきり体を動かしたり、友だちと
いっしょに出かけるような雰囲気です。
過ごせたりもします。

ガイドヘルプ・行動援護

対象：精華町在住で「移動支援事業」「行動援護事業」
の利用対象となる方

外出支援

精華町 と ともに

親の会との協働および運営サポート
せいか祭り出店
精華町障害児者ふれあいのつどい
精華町ふれあいまつり などの運営協力

地域にこだわった支援を

子どもたちの支援はもちろんですが、親の会の支援をずっと続けています。

子育てをしながら当事者組織を運営していくのは、なかなか大変なことです。「親どうしでなければできない支え合い・分かち合い」を大切にできるように「親でなくてもできること」をお手伝いさせてもらっています。

また、町内で行われる地域イベントに参加したり、運営に協力しています。町内最大のイベント「せいか祭り」での出店は、お祭りに来た子どもたちにいつも大人気です。

精華町という地域にこだわりをもって支援を続けています。



学生ボランティアスタッフ募集中

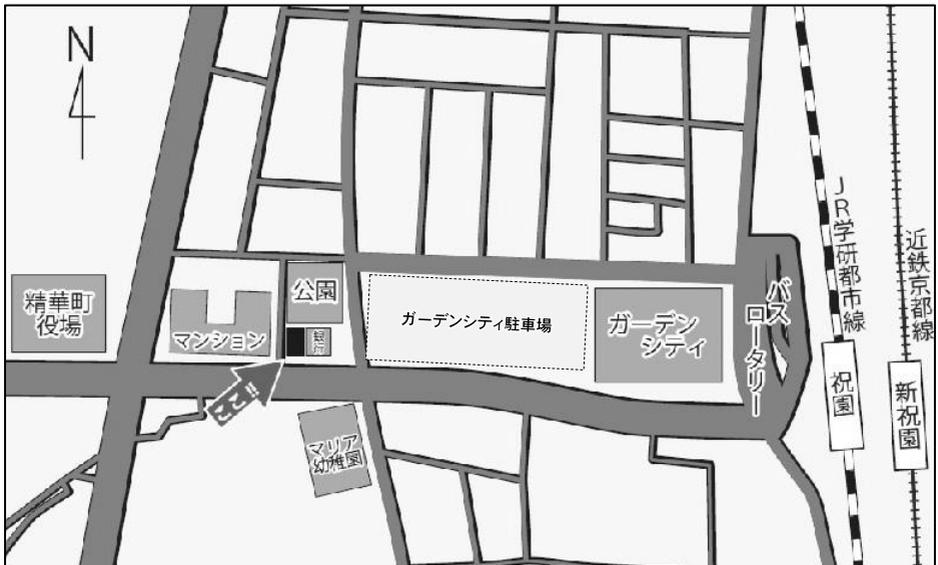
子どもたちの活動と暮らしをいっしょに考えて、支えてくれる学生ボランティアスタッフをいつでも募集しています。

子どもたちと関わりながら、学び合い、楽しむことができます。そんな活動です。それぞれのライフスタイルに応じた参加ができます。



アクセス

「法人本部事務所」は、近鉄新祝園・JR 祝園駅から西へ徒歩3分です。南都銀行の隣にある「ほうその共生ビル」の3階にあります（1階はNPO法人プラッツ運営の「Caféここらく」です）。





NPO 法人（特定非営利活動法人）そら

法人本部事務所（外出支援・放課後支援）

〒619-2040 精華町祝園西 1-8-1 ほうその共生ビル 3 階

TEL: 0774-93-3814 FAX: 0774-93-3826

E-mail: nposora2003@yahoo.co.jp

<http://npo-sora.cocolog-nifty.com/>

つどいの広場 さんりんしゃ

〒619-0243 精華町南稲八妻砂留 22-1 かしのき苑内

TEL: 0774-98-3930

発達支援ルーム こねつく

〒619-0241 精華町祝園出森 3-4

TEL: 0774-26-4174

Libra -りぶら-

〒619-0240 精華町祝園西 1-8-1 ほうその共生ビル 2 階

TEL: 0774-93-3814 FAX: 0774-93-3826（法人本部と同じ）